

# 会 議 録

## 1 会議名

令和元年度 第10回頸城区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 協議事項（公開）

○地域協議会活動報告会の開催について … 資料No.1

### (2) 報告事項（公開）

○新潟県南部産業団地の現状について … 資料No.2

○今後の「公の施設の再配置計画」の取組について … 資料No.3

### (3) その他（公開）

## 3 開催日時

令和元年12月23日（月）午後6時00分から午後6時48分まで

## 4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委員：井部辰男（会長）、関川正平（副会長）、石野敏、上村閨一、笠原昇治、佐藤学、佐野喜治、西巻肇、芳賀芳明、橋本博太、船木貴幸、望月博、山本光男、山本誠信（委員16人中14人出席）
- ・ 産業立地課：黒津副課長
- ・ 行政改革推進課：大瀧課長、島田副課長
- ・ 事務局：頸城区総合事務所橋立所長、田村次長、小山市民・生活福祉グループ長、稲田教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ武内班長、田中主査、古川主任（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容

【田村次長】

- ・会議の開催を宣言

**【井部会長】**

- ・挨拶

**【田村次長】**

- ・滝本委員、横山委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：佐藤委員、佐野委員に依頼

**【井部会長】**

協議事項「地域協議会活動報告会の開催について」に入る。

**【武内班長】**

資料No.1 について説明

**【井部会長】**

委員に質疑等を求めるがなし。

地域協議会活動報告会は、2月28日（金）午後6時から希望館にて開催すること  
でよろしいか。

**【全委員】**

了解

**【井部会長】**

引き続き、報告事項1「新潟県南部産業団地の現状について」に入る。

（産業立地課黒津副課長入室）

**【黒津副課長】**

資料No.2 について説明

**【井部会長】**

委員に質疑等を求めるがなし。

（産業立地課黒津副課長退室）

報告事項2「今後の「公の施設の再配置計画」の取組について」に入る。

（行政改革推進課大瀧課長、島田副課長入室）

**【大瀧課長】**

10月の地域協議会において、令和2年度末に策定を予定している公の施設の再配

置計画の概要について説明させていただいたが、今後計画の取りまとめをしていく中で、施設利用者など関係者の皆さんとの協議を進め、再配置の候補施設を選定する予定としている。

本日は、今後の関係者との協議に当たって、具体的な進め方や今後の日程などについてあらかじめ地域協議会の皆様に説明した上で、関係者との協議を進めていきたいと考えている。

**【島田副課長】**

資料No.3 について説明

**【井部会長】**

委員に質疑等を求める。

**【芳賀委員】**

スケジュールには、関係者とあるが、実際に関係者というものは、例えば学校のような場合、あらゆる家庭が関係者だという視点はあるのか。

**【大瀧課長】**

地域の声を聞くというのは、いつからいつまでという区切りはなく、これから計画策定の令和2年度中つまり令和3年3月までを一つの目安としているが、それは計画の策定の一区切りである。先ほど説明させていただいた通り、今回10年間令和12年度までの計画であり、計画に搭載して市の考え方、住民の皆さんの考え方を整理した上で、一番右下の〈参考〉にあるようにその都度関係者との協議を行い、地域協議会で諮問、答申、議会の議決という手続きに入ることになる。

学校の関係については、この度の公の施設の再配置とは別に計画を策定することとしている。その理由としては、学校は、基本的には子供たちが学ぶ場、学校教育それぞれ地域の子供たちを優良な教育環境の下で育て、育む場であるという視点で、今回主体的に策定する公の施設の再配置とは別に学校施設整備計画を策定するということで考えている。

**【芳賀委員】**

学校について別ということだが、出てくる言葉が特定の人というように私には聞かえる。全ての人に関係しているはずで普通の人聞くことができるのは、この計画が公表された時点じゃないか。それとも今、学校に子供が通学している人たちが、そういう計画を聞いているのか。

**【大瀧課長】**

学校を例にとると、板倉区では学校の統廃合、再配置を進めているが、当然学校の子供たちの保護者の方々の意見を中心に聞いており、地元の方々、地域協議会等から、意見を聞いて進めていると理解している。

例えば我々がこれから計画を作るものに関しても、定期的に利用されている方などを関係者としているので、幅広く意見を聞きながらお互いに納得感を得ながら進めていきたいと考えている。

**【芳賀委員】**

全体的な問題として少子高齢化が問題になっているが、高齢化は人が長生きすることだからいいことかと思う。もし学校を閉鎖するようなことがあれば、その地域には若い人が住まないし、保育園、学校に子供を通わせるのも大変なことになる。

優良な教育をするには都市部へ行かないとできないというように聞こえたが、そういうことではない。家から近くの学校へ通って、親に負担を掛けずに教育を受けるということはとても大事なことであり、そのようなことも考えてもらいたい。

**【大瀧課長】**

芳賀委員の言われたことは、教育環境の整備という点のお話なので、学校教育の関係課にこのような意見があったことを伝える。

次に、私も高齢化自体が悪いことではない。健康で長生きをするのであれば長寿ということなので、良いことであると思う。なお、少子化は全国的な傾向であり、上越市も地方都市の中で多分に漏れず少子化が進展している状況である。

また、決して都市部の方の教育が良くて周辺部が悪いとは考えておらず、一概に大規模化、都市化することだけが良いことではないという考えは、幅広い意見のある中に、そのような意見があるということで承知している。

近くの保育園、近くの学校に通うことを好む方もおられると思うが、一方である程度一定規模で子供たちに集団生活を学ばせたいという親御さんもおられると聞いている。多様な意見もある中で、最大公約数というふうな意見にまとまるように考えていきたい。

**【井部会長】**

他に質疑等を求める。

**【上村委員】**

今後のスケジュールで令和元年12月から2年3月までに関係者との協議となっており、既に始まっているのだろうと思っているが、当頸城区においては( )書きの中に利用者、地元町内会、その他影響が想定される団体等とあるが、頸城区において確たる名称がわかったら教えていただきたい。

**【大瀧課長】**

今現在確たる団体名称等は全て頭に入っていないので、この場での答えは難しいが利用者の方々、スポーツ施設であれば何々スポーツ団体とか、そういったものが想定されている。地元の町内会は、施設が設置されている町内会などの皆様ということであり、いろいろな人の意見を聞きたいという意味合いである。

**【上村委員】**

できればどの地域で何月何日にどういう団体とこれから具体的に話し合いをしていくのか、後で教えていただきたい。

**【大瀧課長】**

只今の意見も踏まえ、施設の所管課に確認し対応を検討して参りたい。

**【井部会長】**

他に質疑等を求める。

**【関川副会長】**

大項目の1番の(3)頸城区内の主な施設、本計画の対象ということで具体的に施設名を挙げているが、これらの施設について上の(2)取組方針の4つ、①から④までであるが、全体について考えるということなのか、それとも例えばユートピアくびきについては何番で検討するとか、そのへんはどうなっているのか。

取組方針の①に人口や財政状況を踏まえてという表現になっているが、財政状況についてはそれなりの理解はあるとしても、人口という表現は上越市全体のことを言っているのか、それとも設置されている区のことを言っているのか。

**【大瀧課長】**

前段の(3)頸城区内の主な施設、本計画の対象。上段の(2)の取組方針①②③④それぞれ具体的な取り組みがあるが、何かを予め決めうちでこれに当てはめるというスタンスで話し合いをすることはない。当然話し合いの中で施設において利用者数であったり、施設の老朽化であったり、さまざまな条件を考慮し話し合いの中で、この施設は例えば④の末永く使ってもらうために施設の長寿命化を図らなければいけないとい

うのものもある。

何か予めそれぞれ決まっているのかに関しては、今の段階で明確に決めているわけではない。考えを聞かせていただく中で、こういう場合はこういう対応方法があるかというお話は当然話の中であると思っている。

後段、二点目の質問の人口について市全体の話なのか、区の中の限定的な話なのかという趣旨のご質問については、結論から言うと両方である。特に頸城区は地勢的に比較的頸北の中でもユートピアくびきは集まりやすい場所で、直江津の市街地からも比較的近いことでそれぞれ区内の人口の推移並びに全市的な推移それらを両方勘案しながら物事を考えていくべきなので、答えとしては区だけの人口だけでなく、市全体の中での位置づけという両方の視点を見ながら進めていきたい。

#### 【関川副会長】

平成23年に膨大な資料をいただいた記憶があるが、その中の施設の採点制とか数字でどうこうという検討をされていたと思う。確か利用者数で点数付けされていたように記憶している。上越市は山手の方がどんどん人口が減っていく中で利用者数だけで施設の廃止をしていいかどうか、非常に今まで疑問に思っていた。

例えば、対象区域の利用率というような指標で検討するというのを考えているかどうか。

#### 【大瀧課長】

他の自治区でも関係者と話をすると単純に利用者数だけで見ると、人口の少ない所は利用者数が少なくて当たり前だという意見を聞くことがある。我々の考えの中には分母に利用可能人数、分子に実際の利用人数ということで、検討の中では単純に利用者数だけに特化して考えてはいない。

居住されている人々の中でその施設を利用できる範囲をある程度特定して利用率というのを勘案しながら進めたいと考えている。

#### 【西巻委員】

来年度末まで一年少々だが、先回の協議会でも出ていたが、ちょっと早急ではないかという意見が確か出ていたと思う。今説明をいただいた項目をこれから皆さんに説明をして、意見を募って結論を出すのに一年少々は乱暴すぎないか。

#### 【大瀧課長】

令和3年3月、これは先ほどの冒頭の説明にもあったように、国からの計画の策定

の要請期間の一定の目安になり、それを目途に進めている。先ほど説明をした中に入っていたと思うが、決して期限ありきというスタンスではなく、あくまでも納得感を持ちながら進めていきたいと考えている。

この再配置の取組は、平成20年度から継続的に進めてきており、唐突に行うものではないが、初めて聞くという方もおられるので、結論ありきではなく、関係する皆さんと地域協議会の皆さんと意見交換しながら進めていきたいと考えている。

**【西巻委員】**

地域協議会は来年改選、それが終わると地域活動支援事業、これをやっていると話をしていただいてもみんな理解していけるかというのも非常に不安な面もある。

周辺部に住んでおられる方は、非常に人口減という問題が大きな問題であって、こういう話は丁寧に意見を拾っていただいてみんなが納得いくような形に収めてもらえればと思う。ただ廃止をすれば経費は浮くからという話ではなく、伸びしろのあるところに目を向けるような政策を考えていただきたい。

**【大瀧課長】**

今ほどのご意見を参考に、今後の検討の中で生かしていきたい。

**【井部会長】**

他に質疑等を求めるがなかったので、報告事項を終了。

(行政改革推進課大瀧課長、島田副課長退室)

**【田村次長】**

- ・第11回地域協議会：1月22日（水）で考えている。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求めるがなし。
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線212）

E-mail：[kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。